

## ★高等部 第2回 産業現場等における実習

11月に、高等部の1年生と2年生が産業現場等における実習を行いました。1、2年生の間に3回、それぞれ異なる事業所で実習を行い、卒業後の進路希望を具体的にしていきます。11月の実習は、高等部1年生にとっては初めての実習、2年生は3回目の実習になります。5日間の実習の最終日は実習先で反省会（振り返り）を行い、後日評価票をいただいています。

### 【実習評価票の例（一部抜粋）】

実習評価票					
実習生徒氏名					実習先名
実習期間	令和 年 月 日 ~ 月 日				
作業内容					
評価項目(あてはまるところに○をつけてください)					
	良い	だいたい良い	普通	要改善	
態度 面	あいさつ				
	言葉づかい				
	身だしなみ				
	時間を守る				
	約束を守る				
	対人関係				
	意欲				
	根気強さ				
	責任感				
	素直さ				
その他					



実習評価票			
実習生徒氏名			実習先名
実習期間	令和 年 月 日 ~ 月 日		
実習内容	(午前)		
	(午後)		
	興味関心		
	食事排せつ		
	意思の伝達返事		
今後の課題	対人関係		

今回は、実習先からいただいた評価や学校や家庭での指導に期待すること、アドバイスについて紹介します。

### 挨拶・コミュニケーション（意思の伝達）

- こちらから挨拶をすると返してくれましたが、**自分から先に挨拶**できるともっと良かったです。
- 挨拶の声が少し小さいが、**頑張っているのは伝わりました**。
- 職員からの話に対して**うなずき**、**あいづちを打ちながら聞く**ことができました。
- できたときの報告や**困ったときのヘルプ**がもっとできると良いです。
- 自分の**気持ちを伝える方法**や、支援する側が**気持ちを汲み取れる方法**を確立して、**楽しく人と関われるようになる**ことが大切です。



### 態度・社会性

- 明るい雰囲気、**積極的に参加する姿勢**が素晴らしいです。
- 新たな環境でも落ち着いて過ごせる**ように、いろいろな**経験を積んでおく**と良いです。
- 初めて関わる**事業所職員の介助も受ける**ことができました。



## 身体面・動き

- ・長時間の車椅子生活なので、**自らの身体を労わる**ことができるようになると良いです。
- ・日々の中で、**体幹を鍛えて、適切な姿勢をできるだけ保持**することも取り入れてみてください。
- ・施設内は狭いため、(自走している場合は)トイレなど**狭い場所でも車椅子で移動したり向きを変えたりすることができる**と良いです。



## スキル・作業・身辺自立

- ・簡単な数字の概念をもとに、計数や計量(はかりなど)にチャレンジしておく、**作業の幅が広がります**。
- ・在宅就労を目指す場合、**パソコンのスキルを高めておく**と良いです。
- ・一人でできること(上着の着脱、靴を脱ぐ、食具を袋から出す)が一つでも増えると良いです。学校よりも職員が少なくなります。普段の生活の中で**一つでもできることを増やして**おけば、選べる事業所の幅が広がるのではないかと思います。
- ・**食事と排せつ**は、学校から教えていただいた支援方針があったため、安全にスムーズにできました。
- ・職員が足りない、**排せつが自立**できると受け入れやすいです。

### まとめ

- ①挨拶は基本
- ②コミュニケーション手段の確立
- ③いろいろな経験をし、変化を受け入れる柔軟性
- ④できることを増やす(排せつの自立)
- ⑤いつでも、どこでも、誰でもできる支援方法
- ⑥車椅子の操作(狭い場所でも)



子供たちの幸せな未来のために、今後も家庭と連携しながら取り組んでいきたいと思っております。

## 実習報告会の御参加ありがとうございました

今回は、高等部の実習報告会の御案内を、中学部の保護者の皆様にも配信し、希望された方に参加していただきました。高等部の生徒がどんな事業所でどんな内容で実習をしたのか、どんな成果や課題があったのかといったことを知る機会です。来年度も、多くの御参加をお待ちしています。

